学校番号	３０１６

令和３年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」（教育図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

芸術科書道では小中学校の書写から発展して、さまざまな用具用材や技法による文字表現の多様性について学習します。学習内容は書写でも学習した楷書・行書に加え、草書・隷書・篆書、更には篆刻（印の制作）や創作作品の制作といった発展的な課題まで広範に渡ります。
筆墨硯紙を用い、伝統的な表現をふまえた上で自分らしい文字を書くことができるようになることを目指します。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。古典を通して書のさまざまな美について学び、書風を理解し制作することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を活かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 5月	書写から書道へ	書の美について考える ・国語科書写と芸術科書道 ・書体の変遷 蔵法　と　露法	○	○			a:国語科書写と芸術科書道の関係を理解し意欲的に取り組もうとしている。 b:芸術科書道の学習における意義を理解し表現を工夫する。 c:姿勢・執筆法の基本を理解し工夫することができる。 d:用具用材の基本的な扱いを理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
6月 7月 8月	漢字の書 篆刻	漢字の書　　篆書 篆刻 ・印稿制作 ・朱文印制作（６分）		○	○		a:文字の成立に興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:篆書における分間布白・間架結構を理解し表現する。 c:筆の弾力を最大限に生かし、運筆の方法により筆画の表情が出ることを理解し応用する。 d:印章の成立について理解することができる。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
9月 10月	漢字の書	行書　草書		○	○		a: 様々な行書、草書を鑑賞し，書風の違いについて関心を持ち，理解しようとしている。 字形や用筆の特徴に関心をもっている。 古典の書美と表現技法に関心を持ち，意欲的に身につけようとしている。 b: 各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ，書風を生かした表現を工夫している。 ｃ:各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ，書風を生かした表現をすることができる。 ｄ:様々な行書・草書を鑑賞し，書風の違いについて理解している。 字形や用筆の特徴を理解している。 古典の書美を理解し，表現技法を理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

11月 12月	漢字仮名交じりの書　表具	漢字仮名交じりの書 ・線質 ・紙面構成 表具			○	○	a:創作活動に関心を持ち、主体的に取り組むことができる。 b:自らの感性に密着した書表現を目指し、実験的なアプローチを経て表現を工夫することができる。 c:線質、字形、紙面構成など創作における効果的な表現の技能を身につけることができる。 d:さまざまな表現技法により表出されるイメージの違いについて理解することができる。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
1月 2月 3月	仮名	仮名の書		○		○	a:仮名の成立に関心を持ち、新たな書表現に主体的に取り組もうとしている。 b:仮名の基本用筆を理解し、適切に用いることができる。 c:筆の弾力を生かした流動的な表現をすることができる。 d:仮名文字の成立、特性について理解することができる。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。